

『財務報告論 第4版』

章末練習問題 解答

問題 1—1

【解答欄】

①	財務
②	管理
③	連結財務諸表
④	個別財務諸表，単体財務諸表，財務諸表
⑤	財務報告
⑥	有価証券報告書
⑦	アカウンタビリティ
⑧	ディスクロージャー
⑨	意思決定有用性
⑩	情報提供
⑪	利害調整

問題 2—1

【解答欄】

①	資産
②	負債
③	純資産
④	請求権
⑤	財政状態（財務状況）

問題 2—2

【連結 [貸借対照表]】

×2年3月31日(時点)

(単位:億円)

資産	(流動) 資産			230	(1,000)
	(固定) 資産	(有形固定) 資産	(355)	(750)	
		(無形固定) 資産	190		
		投資その他の資産	205		
	繰延資産			20	
負債	(流動) 負債			50	200
	(固定) 負債			(150)	
(純資産)	(株主資本)	(資本金)	(200)	(600)	800
		(資本) 剰余金	200		
		(利益) 剰余金	250		
		自己株式	△50		
	(その他の包括利益累計額)			130	
	新株予約権			10	
	非支配株主持分			60	

問題 3—1

【連結損益計算書】

(単位:億円)

	×1年度	×2年度	×3年度
(売上高)	1,000	(1,100)	1,210
売上原価	600	660	(710)
(売上総利益)	(400)	(440)	500
販売費及び一般管理費	150	320	(350)
(営業利益)	(250)	(120)	150
営業外収益	10	10	15
営業外費用	25	55	(65)
(経常利益)	(235)	(75)	100
特別利益	20	35	(210)
特別損失	55	100	10
(税金等調整前当期純利益)	(200)	(10)	300
法人税、住民税及び事業税	90	1	(125)
法人税等調整額	△10	(3)	△5
法人税等合計	(80)	4	120
(当期純利益)	(120)	(6)	(180)
非支配株主に帰属する当期純利益	20	1	30
(親会社株主に帰属する当期純利益)	(100)	(5)	(150)

問題 4—1

【連結 [キャッシュ・フロー計算書]】	
自 ×1年4月1日 至 ×2年3月31日 (単位：億円)	
	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200
(財務)活動によるキャッシュ・フロー	60
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
(現金及び現金同等物) の増加額	(70)
現金及び現金同等物の期首残高	10
現金及び現金同等物の (期末) 残高	(80)

問題 5—1

【解答欄】

①	純資産合計
②	純資産合計
③	その他の包括利益
④	期末純資産合計
⑤	親会社株主に帰属する当期純利益 (最終利益)
⑥	意思決定有用性
⑦	目的適合性 (意思決定関連性)
⑧	忠実な表現 (表現の忠実性を持つ/がある)
⑨	セグメント

問題 6—1

【解答欄】

①	金融商品取引
②	経理の状況
③	貸借対照表
④	損益計算書
⑤	株主資本等変動計算書
⑥	計算書類
⑦	事業報告
⑧	附属明細書
⑨	計算書類等

問題 7—1

【解答欄】

①	株主
②	株主総会
③	株式
④	株主有限責任の原則
⑤	株式譲渡自由の原則
⑥	自己責任の原則

問題 8—1

【解答欄】

①	連結会社
②	提出会社
③	MD & A
④	合併
⑤	買収
⑥	M & A

問題 9—1

【解答欄】

①	株式時価総額
②	自己株式、自社株、金庫株
③	配当性向
④	配当政策
⑤	株価増減率、キャピタルゲイン

問題 10—1

【解答欄】

①	監査役会設置会社
②	監査等委員会設置会社
③	指名委員会等設置会社
④	適法性（コンプライアンス）
⑤	経営の効率性
⑥	コーポレート・ガバナンス・コード
⑦	スチュワードシップ・コード

※①②③は順不同

問題 13—1

①分母の資本について、期中平均数値を使う場合：

$$ROE : \underline{10} \% \quad ROA \text{ [営業利益]} : \underline{15} \% \quad ROIC : \underline{15} \%$$

②分母の資本について、期末数値を使う場合：

$$ROE : \underline{9.1} \% \quad ROA \text{ [営業利益]} : \underline{13.6} \% \quad ROIC : \underline{14} \%$$

①分母の資本について、期中平均数値を使う場合：

ROE

期首自己資本金額＝期首株主資本 8 兆円＋期首その他の包括利益累計額 1 兆円＝9 兆円

期末自己資本金額＝期末株主資本 10 兆円＋期末その他の包括利益累計額 1 兆円＝11 兆円

期中平均自己資本金額＝（期首自己資本 9 兆円＋期末自己資本 11 兆円）÷2＝10 兆円

ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益 1 兆円÷期中平均自己資本金額 10 兆円＝0.1 10%

ROA [営業利益]

期中平均資産金額＝（期首資産合計 18 兆円＋期末資産合計 22 兆円）÷2＝20 兆円

ROA [営業利益]＝営業利益 3 兆円÷期中平均資産金額 20 兆円＝0.15 15%

ROIC

ROICの計算式の要素

税引後営業利益＝営業利益×（1－法定実効税率）

事業投下資本＝純資産＋有利子負債＋非事業負債

－現金及び預金－非事業余剰資金資産－未稼働・遊休・廃止・処分予定事業資産

非事業負債、非事業余剰資金資産、未稼働・遊休・廃止・処分予定事業資産がない場合

事業投下資本＝純資産＋有利子負債－現金及び預金

税引後営業利益＝3 兆円×（1－0.3）＝2.1 兆円

期首事業投下資本金額＝期首純資産 9 兆円＋期首有利子負債 8 兆円－期首現金及び預金 4 兆円＝13 兆円

期末事業投下資本金額＝期末純資産 11 兆円＋期末有利子負債 10 兆円－期末現金及び預金 6 兆円＝15 兆円

期中平均事業投下資本金額＝（期首事業投下資本 13 兆円＋期末自事業投下資本 15 兆円）÷2＝14 兆円

ROIC＝税引後営業利益 2.1 兆円÷期中平均事業投下資本金額 14 兆円＝0.15 15%

②分母の資本について、期末数値を使う場合：

ROE

期末自己資本金額＝期末株主資本 10 兆円＋期末その他の包括利益累計額 1 兆円＝11 兆円

ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益 1 兆円÷期末自己資本金額 11 兆円＝0.0909 9.1%

ROA [営業利益]

ROA [営業利益]＝営業利益 3 兆円÷期末資産金額 22 兆円＝0.1363 13.6%

ROIC

税引後営業利益＝3 兆円×（1－0.3）＝2.1 兆円

期末事業投下資本金額＝期末純資産 11 兆円＋期末有利子負債 10 兆円－期末現金及び預金 6 兆円＝15 兆円

ROIC＝税引後営業利益 2.1 兆円÷期末事業投下資本金額 15 兆円＝0.14 14%

問題 13—2

流動比率： 100 % 当座比率： 50 %
 ①負債資本比率： 150 % または ②負債資本比率： 100 %
 ①自己資本比率： 40 % または ②自己資本比率： 50 %
 ①固定比率： 200 % または ②固定比率： 160 %
 固定長期適合率： 100 %

流動比率＝流動資産 120 億円÷流動負債 120 億円＝1

当座比率＝当座資産 60 億円÷流動負債 120 億円＝0.5

他人資本＝流動負債 120 億円＋固定負債 180 億円＋新株予約権 15 億円＋非支配株主持分 45 億円＝360 億円

自己資本＝純資産 300 億円－新株予約権 15 億円－非支配株主持分 45 億円＝240 億円

①負債資本比率＝他人資本 360 億円÷自己資本 240 億円＝1.5

②負債資本比率＝負債合計 300 億円÷純資産 300 億円＝1

総資本＝流動負債 120 億円＋固定負債 180 億円＋純資産 300 億円＝600 億円

流動資産 120 億円＋固定資産 480 億円＝600 億円 (ゆえに繰延資産＝0)

①自己資本比率＝自己資本 240 億円÷総資本 600 億円＝0.4

②自己資本比率＝純資産 300 億円÷総資本 600 億円＝0.5

①固定比率＝固定資産 480 億円÷自己資本 240 億円＝2

②固定比率＝固定資産 480 億円÷純資産 300 億円＝1.6

固定長期適合率＝固定資産 480 億円÷(純資産 300 億円＋固定負債 180 億円)＝1

問題 13—3

1株当たり純利益（EPS）： 100 円
 1株当たり純資産（BPS）〔純資産〕： 1,000 円
 1株当たり配当金（DPS）： 40 円
 株価収益率（PER）： 20 倍
 株価純資産倍率（PBR）〔純資産〕： 2 倍
 株価配当率（PDR）： 50 倍
 配当性向： 40 %
 配当利回り： 2 %
 株式益回り： 5 %

期中平均発行済株式総数＝（期首の発行済株式総数4億株＋期末の発行済株式総数6億株）÷2＝5億株

1株当たり純利益（EPS）＝親会社株主に帰属する当期純利益500億円÷期中平均発行済株式総数5億株＝100円

1株当たり純資産（BPS）〔純資産〕＝純資産6,000億円÷期末の発行済株式総数6億株＝1,000円

1株当たり配当金（DPS）＝剰余金の配当200億円÷期中平均発行済株式総数5億株＝40円

株価収益率（PER）＝株価2,000円÷1株当たり純利益（EPS）100円＝20

株価純資産倍率（PBR）〔純資産〕＝株価2,000円÷1株当たり純資産（BPS）〔純資産〕1,000円＝2

株価配当率（PDR）＝株価2,000円÷1株当たり純利益（EPS）40円＝50

配当性向＝剰余金の配当200億円÷親会社株主に帰属する当期純利益500億円＝0.4

配当利回り＝1株当たり配当金（DPS）40円÷株価2,000円＝0.02

株式益回り＝1株当たり純利益（EPS）100円÷株価2,000円＝0.05

問題 14—1

- ① 割引現在価値合計 10,000 億円
 ② 割引現在価値合計 10,000 億円

- ① $700 \div 0.07 = 10,000$
 ② $100 \div (0.07 - 0.06) = 10,000$

問題 14—2

加重平均資本コスト 7 %

$$\begin{aligned} & \text{負債コスト } 4\% \times (5,000 / (5,000 + 15,000)) + \text{株主資本コスト } 8\% \times (15,000 / (5,000 + 15,000)) \\ & = \text{負債コスト } 4\% \times (0.25) + \text{株主資本コスト } 8\% \times (0.75) = 7 \end{aligned}$$

問題 14—3

株主価値：7,500 億円 1株当たり株主価値：1,500 円

企業価値＝事業価値 10,000 億円＋現金預金残高 2,000 億円＋遊休資産価値 500 億円＝12,500 億円
 株主価値＝企業価値 12,500 億円－有利子負債合計 5,000 億円＝7,500 億円

1株当たり株主価値＝株主価値 7,500 億円÷発行済株式総数 5 億株＝1,500 円